

養豚場に当センター開発の脱臭施設が稼働

府内の養豚場に、豚糞乾燥施設に起因する臭気対策のため、当センターが開発した微生物を植種することでアンモニアを脱臭する「樹木チップ脱臭施設」を設置し、4月4日に種菌を投入することで施設が稼働しました。

脱臭効果が出るには種菌投入後5箇月程度を要するため、細菌が定着しているかどうかを、夏にアンモニア濃度を測定して効果を確認することとしています。



完成した脱臭施設へ種菌を投入